

詰め込みでなく保育所を増やせ

大阪市議会教育子ども委 長岡議員が質問



長岡ゆりこ議員

全基準。保育の質をきっちり確保した認可保育所の整備で待機児解消を進めよ」と求めました。

また大阪市立高校全21校を府立に移管する方針について質問。市立高校の特色ある教育内容が、府への移管で引き継がれるか不安があるなどの問題を挙げ、「移管方針を市長のトップダウンの指示だけで決めてしまうのは、あまりにも乱暴」と批判しました。

教育子ども委員会(2日)で長岡ゆりこ議員は、保育所の面積基準を緩和する特例措置を再延長する条例改正案について質問しました。

1歳児は本来1人当たり3・3平方メートルが必要なのに、1・65平方メートルを確保すれば入所可能に。0歳児は市の基準5平方メートルを1・65平方メートルで構わないとするもの。2年間の措置期間が来々3月末まで延長され、子どもたちが詰め込まれ、今回の条例改正ですらに3年間しようとして

ていると指摘。「本来は来々3月末で特例措置は終わり、緩和措置の対象の子どもはゼロにすべきだったのに、現時点で1千人いるというのは、市の怠慢だ」と強調しました。

特例措置は「待機児解消」を理由に、橋下市政時代の12年に導入されま

来々3月末まで延長され、子どもたちが詰め込まれ、今回の条例改正ですらに3年間しようとして

ていると指摘。「本来は来々3月末で特例措置は終わり、緩和措置の対象の子どもはゼロにすべきだったのに、現時点で1千人いるというのは、市の怠慢だ」と強調しました。